

北陵小学校 P T A 便り



日増しに秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じることも多くなりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。日頃は PTA 活動に多大なるご理解とご協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、この度は保護者の皆様に PTA の活動内容をお伝えする機会が少ないので、広報等を通して少しでも活動内容を知ってもらおうと思い PTA 便りを作成する運びとなりました。

少しでも興味を持っていただき、来年度の入会者や役員への立候補者が増えれば嬉しく思います。

現在、北陵小学校では PTA 総務四役に加え A,B,C の3チームで活動を行っています。

昨年度から続くコロナ禍で思うように活動できないことも多々ありますが、少しでも子ども達の学校生活が豊かなものになればと思い、できる範囲で活動を続けています。

今回は PTA 活動の半年間を振り返り、活動内容やそれぞれ感想を書かせていただきました。

・学校運営協議会について

学校運営協議会という取り組みが始まっています。教職員だけでなく、保護者や地域の代表も学校の運営についてともに議論し、子どもたちの成長を見守ります。また、地域に開かれた学校を実現し、地域住民だけでなく企業や各種団体等の参画により、子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動である「地域学校協働活動」との一体的な推進を図っていきます。私たちは保護者の代表として保護者目線で議論に参加させていただきます。

・お掃除ボランティアについて

お掃除ボランティアは新型コロナの流行で、学校のドアノブ等を消毒するための作業が先生方の大きな負担となり、通常業務にも影響が出てくる恐れがあったため北陵コミュニティの発案で始まりました。地域ボランティア団体のメンバーが、私たちの子どものために清掃活動をしてくださっているのですが、保護者からのお掃除ボランティアへの参加者が少ないのが現状です。

そのため、保護者が気軽に参加できる形で時間や曜日の変更、掃除の仕方について学校と相談中です。

・選挙について

11月に来年度の役員の立候補者を募ります。立候補者がいない場合は12月に互選会を行う予定です。役員の仕事は大変そうなので、出来れば役員になるのは避けたいと思われている方が大半だとは思いますが、しかし以前のPTAの活動と比べると仕事量はかなり少なくなっています。また『何事も出来る範囲で無理はしないでやっていこう』という考え方で活動しています。今年度もさらに効率的に活動出来るよう仕事内容、役員人数、組織のあり方も見直している最中ですので、ぜひ多くの方にPTA活動に参加して頂きたいです。

来年度以降役員をするメリット(運動会や音楽会の時の優先席の確保等)を作り、学校と協議していくところです。

本来ならばボランティアチームとブロック長の選出も同時に行うところでしたが、今年度のPTA加入状況から、来年度の候補者数が少ないことが考えられたため、先に総務の選挙を実施することにしました。ですので総務役員が決定次第、ボランティアチームとブロック長の立候補を募る予定です。

来年度の役員の候補がなければPTAの解散ということもありえます。果たしてそれが子どもたちのためになるのかを今一度お考え下さい。

・PTA の仕事について

世の中の流れもあり、北陵小学校の PTA 活動もスリム化され、今の PTA がどんな活動をしているのか今回ご紹介したいと思います。

北陵小学校 PTA は四役と呼ばれる会長（1 名）、副会長（2 名）、書記（2 名）、会計（1 名）、あとボランティア チームとして A・B・C と 3 つのチーム（旧・学年委員）で構成されています。

昨年と今年はコロナ禍のため、北陵ふるさとまつりが中止になったり、運動会が学年ブロックごとの参観になるなど例年どおりではない部分もありました。

四役会議も三密を避けるために zoom 会議を開催した事もありました。

PTA のスリム化に伴い、PTA に加入するか、しないかを選べるようになりました。

『PTA は本当に必要なのか？』

まず第一は子どもたちの学校環境を良くするために PTA はあります。

今、校舎のトイレの改修工事がされていますが、一昨年度に北陵小学校 PTA が要望を出し、実際に越田市長が本校のトイレを視察に来られ今回実現されたという経緯があります。

このように年月がかかる内容もありますが、大切な子どもたちを取り巻く学校環境が改善されるお手伝いをするのは PTA 活動の大切な役割だと考えます。

『PTA は学校と保護者との窓口です！』

先ほども申し上げた通り、PTA がなくなってしまうと学校の中の子どもたちの様子が伝わりにくくなります。そして保護者の意見も伝わりにくくなります。子どもたちの学校生活がより良くなるために、学校と協議し意見が反映されるよう働きかけます。

『PTA はボランティア です！』

できることを、できるひとが、できるときにする。

一人で抱え込んだり、できないことや、参加できないことを責められるなどということは絶対にあってはなりません。

誰もが気持ちよく参加できる組織へと変わっていくために、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせ下さい！

・安全協力員さんとの交流会について

1学期に安全協力員さん達と校長先生、教頭先生、ブロック長さん、四役が集まり日頃の登下校時の安全について意見交流をしました。

⚠ 丸山台2丁目交差点は長い下り坂を走って帰る児童がいて、車道に直交するので特に危険。

⚠ カリヨン通りは信号がなく、工事車両の往来もあるので注意が必要。

⚠ 特に低学年が道にある鎖にまたがったり座って喋ったりしていて後ろにひっくり返って車道に転げてしまう危険がある。

⚠ けんたろう歯科前の交差点で車がなかなか止まってくれないので渡るのに苦労する。

などが挙げられました。登下校時のパトロールの際には上記の点にも留意し、ご家庭でもお子様とお話ください。

・A チームについて

＊例年の主な仕事は、北陵ふるさと祭りに関わることです。打ち合わせ・ボランティア募集・手紙配布・備品確認・仕分け、役割分担決め、買い出し、調理器具の確認・洗浄・準備を、事前にします。当日は食材搬入、下準備、模擬店の運営、片付けなどといった仕事が入ります。

しかし、今年も昨年同様、ふるさと祭りは開催されず、これらの仕事をすることはありませんでした。4月の段階から、開催が危ぶまれていたため、打ち合わせ等も実施されませんでした。

＊花いっぱい運動のボランティア募集、印刷物配布についての話がありましたが、募集に関しては他チームさんがしてくださりました。Aチームとしては、ボランティアとして活動に参加しました。

＊北陵子ども大学の活動のお手伝いについての依頼がありました。しかし、今年の夏休みはコロナ禍ということもあり、実施されませんでした。本来ならば、受付や準備、片付けが入ります。

＊インクカートリッジ回収を、年度末に実施する予定にしています。

今年も昨年に引き続き、ふるさと祭りが開催されず大きな仕事をする機会がありませんでした。募集されるボランティア活動には参加するよう努めましたが、他チームのお手伝いに回るなどといったことも出来たかもしれないと反省しています。

・B チームについて

校長先生のブログのおかげで、学校の様子を知ることができ、いつも楽しみに読ませていただいています。

しかし、コロナ禍で参観等、学校へ行く機会も少なくなり、実際の子どもたちの様子が見えにくくなって、寂しくも思っていました。

P T A改革の中、役員数や、集まる回数は激減しています。

今年度のBグループでは、月に一度集まって図書ボランティアのシフト組みや、お掃除ボランティアのお手紙作成をしています。

わずかな時間ですが、学校の雰囲気を感じることができています。

図書ボランティアでは、保護者の方と交流する貴重な機会もあり、わが子以外の学年の子どもたちと会話したりすることで、学校が身近な存在になってきました。

制約がある中でも、子ども達の為に尽力してくださっている先生方に感謝しています。

一度も役員をしたことがなかったメンバーも含めて、楽しく活動をしています。

いろいろと難しい時代ですが、微力ながらお手伝いを続けていきたいと思っています。

・Cチームについて

私たちCチームは6年生の保護者のみ3人で活動しています。主な活動内容は献血活動のお手伝いとお別れ会の企画、準備などです。まだ2学期ということもあり、実際に動いているのは献血活動のお手伝いだけです。

献血といわれてもよく知らないし、何をすればいいんだろう……と思われる方もいらっしゃると思います。私もそうでした。しかし、この活動は川西市献血推進協議会北支部の「それいゆ」の方々が主体となってやっけてくださいますので、私たちは本当にそのお手伝いをするだけです。「それいゆ」の方々は見直されているPTA活動への理解も深く、負担にならないよう配慮してくださり、とてもありがたかったです。私たちはポスターを作り貼る作業、当日のボランティア募集の手紙の作成、当日の呼び込みなどをしました。その中で献血について勉強させていただく機会もあり、献血がいかに大切かということや新型コロナの影響についてなど知識を深めることもできました。

今、PTAは入会者数の減少、役員のなり手不足など、多くの課題を抱え変わろうとしています。共働きの家庭が増え、価値観が多様化するなか、従来のやり方では成り立たず、試行錯誤を重ねています。そんななかだからこそ、先生方、地域の方々、四役をはじめ自分以外の役員の方など、多くの人のPTAへの考え方を知ることができました。その根底には子ども達を思う優しい気持ちがあることも伝わってきました。

今年度の役員のやってきた仕事を全て引き継がなければならないわけではありません。その年その年の役員の方達が子ども達のためにと自ら考え決めていけるような枠組みを作っているところです。役員を重荷と考えるのではなく、親が子どものためにしてあげられることのひとつとして考えてみてほしいです。

今後、どのようにPTAが変わっていくのかまだわかりませんが、北陵小学校の子ども達が、学校、地域、保護者にあたたかく見守られながら過ごせるよう、ひとりでも多くの方の協力が得られればと思います。

今後ともPTA活動にご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。